



# 辺野古新基地 建設ノーは 県民の民意

自民党政府は、戦後80年余、米軍基地に苦しめられ続けた沖縄県民に対し、新たな米軍基地建設を押しつけてきました。宜野湾市の市街地にある米軍普天間基地の移設という名目での、名護市辺野古・大浦湾の美しい海を破壊する新たな米軍基地の建設です。

30年前に持ち上がったこの新基地建設計画に対し、沖縄県民は保守・革新・中道の政治的立場を超えた「オール沖縄」の反対運動を繰り返してきました。そして、2014年、2018年、2022年と3度の沖縄県知事選挙、そして2019年の県民投票で、辺野古新基地建設ノーの明確な民意を示してきました。

イラン攻撃に動員される在日米軍



イラン攻撃には沖縄から海兵隊が出撃。嘉手納基地の第18航空団も出撃し、ホルムズ海峡でイラン船舶を攻撃、拿捕（だほ）する作戦にも加わる。

## 基地の本質は出撃拠点——新基地建設「危険性除去」の名目も嘘

政府が沖縄に押しつけようとしている新米軍基地は、無法なアメリカの戦争の出撃基地です。しかし、大浦湾側の広大な軟弱地盤の改良工事は一向に進まず、完成の見込みは全く立っていません。しかも、米政府は、仮に新基地が完成しても、緊急時に米軍が使用する長距離滑走路が確保されない限り、普天間基地は返還しないとしています。新基地建設の名目である「普天間基地の危険性除去」がうそであることは明らかです。環境を破壊するだけの壮大な税金の無駄遣い。基地建設は直ちにやめよの声を、沖縄県民とともに全国であげましょう。

## 戦争反対、沖縄を戦場にさせない平和の声を 9月沖縄県知事選挙へ

高市政権は沖縄を軍事要塞化し、戦場にしてでも、アメリカの戦争に協力する姿勢を露わにしています。9月13日投開票の沖縄県知事選挙で、米軍新基地建設ノー、憲法守れで頑張る玉城デニー知事勝利のために、全国の支援を強めましょう。



辺野古新基地建設工事の中止と  
普天間基地撤去を求める署名にあなたも！



日本平和委員会

2026年6月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです  
「平和新聞」(月2回刊)、「平和運動」(月間)発行中

<http://j-peace.org/> (X) (F)

